

春闘勝利総決起集会を開催！！

「2015イースト春闘」を意思統一

純ベア3,000円、労働協約改訂要求と合せた月例賃金6,000円以上の改善を求める！
2015年度夏季手当については3.2ヶ月分を要求

本部は2月21日、「2015春季生活闘争勝利総決起集会」を開催し、各地本から参加した約40名の組合員とともに、JREユニオンを結成して初めてとなる春季生活闘争「2015イースト春闘」を意思統一した。集会では、JR連合から出席した尾形政策部長から、情勢報告とJR連合春闘方針、政策・組織課題についてなどの講演をいただき、私たちの“春闘要求の根拠”を確認するとともに、その上で、産別加盟単組としてイーストユニオン組合員が一丸となった取り組みを全体で確認しあった。



春闘集会の冒頭 挨拶をする菅野委員長

「春闘アピール」

2015春季生活闘争は周知の通り、これまでにない追い風の中で始まっている。連合は「働くことを軸とした安心社会」の実現を目指し、今春闘では「賃上げ2%以上」「時短」「政策・制度実現の取り組み」を3本柱として位置づけて取り組んでいる。JR連合は「中期労働政策ビジョン」に掲げた「あるべき働き方」の実現を目指し、賃金引き上げとともに「総合生活改善闘争」を鮮明にした春闘を加盟単組に呼び掛けている。

私たちジェイアール・イーストユニオンはJR連合の春闘方針を基に、純ベア3,000円を含む基準内賃金6,000円以上の引き上げ、それに関わる10項目の協約改定要求と、夏季手当3.2ヶ月分の要求等を先の中央委員会で決定し、2月12日に会社へ申し入れた。JR東日本会社の経営体力は十二分にある。労使ともにJRの持つ社会的役割について認識し合い、成長と発展を目指していかなければならない。「いま出さないで、いつ出すのか！」中央委員会での声である。

私たちが目指す労働組合の使命は、企業内労働組合として、健全な労使関係のもとで安心・安全に働ける職場、働きがいのある労働環境をつくることにある。併せて、労働組合としての社会的役割を考え貢献していかなければならない。その中で「安全の確立」と、運動の継承を図る「組織拡大」を実現させていく。企業の発展は、働く者の労働条件の維持・向上につながらなければならない。私たちは健全な経営に資する提言をし、労働者の地位向上を求める運動を推し進めていく。

ジェイアール・イーストユニオンとしては初めての春闘交渉になる。冒頭に言った通り、これまでにない追い風が吹いている。だからこそ、労働組合としての真価が問われる春闘でもある。リーディングカンパニーを称するJR東日本、その名に恥じぬ対応を求めるものである。私たちは本当のリーディングユニオンの気構えを持ち、全組合員一丸となり「2015イースト春闘」を闘いぬこう！